

医師が語る「がん治療」本当の姿

入場無料

予約不要

2017年11月11日(土)

14:00～16:30(開場13:00)

ニューオーサカホテル 淀の間

- 1 限目 **がんはなぜ怖いのか**
完治治療と共存治療の違い
- 2 限目 **免疫治療、粒子線治療**
——その誤解について
- 3 限目 **がん患者さんが将来困ること**
痛み、出血、浮腫、腹水、胸水、呼吸苦など
- 4 限目 **当院のがんカテーテル治療について**
医療のコンセプトと目的・適応と適応外・症例提示
- 5 限目 **緩和ケア病棟**
中島師長による出張講演
がん治療期における症状緩和ケア
——リンパ浮腫緩和や精神的援助

がんカテーテル治療とは

再発・進行したさまざまな種類のがんに対し、高濃度の抗がん剤と極小のビーズ(塞栓物質)を、栄養動脈からカテーテルを用いて腫瘍に直接注入する治療法。通常抗がん剤治療では効果が乏しくなってきた病変に対して、ピンポイントで抗がん剤を投与。さらに腫瘍に栄養を供給する血管をビーズで遮断しがんを「兵糧攻め」することで、がんの制御と症状緩和を目指す



関明彦

吹田徳洲会病院 腫瘍内科 がんカテーテル治療センター長
(せき・あきひこ)

浜松医科大学卒。同大学放射線科教室、富士宮市立病院放射線科医長、静岡がんセンター画像診断科副医長などを経て、現職。

日本医学放射線学会放射線診断科専門医、日本IVR学会IVR専門医、日本癌治療学会会員、日本緩和医療学会会員など

- 【会場】 ニューオーサカホテル 淀の間
〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-14-10 ☎06・6305・2345
- 【アクセス】 電車…▶地下鉄御堂筋線「新大阪駅」7番出口より徒歩30分
▶JR「新大阪駅」1階正面出口より徒歩3分
空港…▶大阪国際空港「伊丹空港」から空港バスで約25分
▶関西国際空港からJR「はるか」で45分
- 【問合せ】 吹田徳洲会病院 地域連携室 06・6878・5221(直通) 担当:宮井

